

# Campus Today



## 第24回 SCRP 日本代表選抜大会 中田智是君が臨床部門第2位入賞

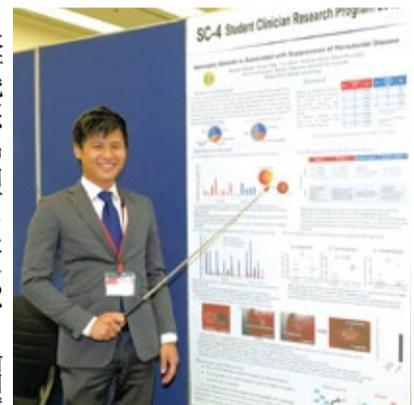


日本歯科医師会・村岡宜明専務理事より臨床部門第2位の表彰を受ける中田君(左)

「唾液中の溶血性細菌と歯周疾患との関連性」探る 学生たちの研究努力が結実し受賞の栄誉

歯科学生が自らの研究のプレゼンテーションを英語で行い、その成果を競う「2018年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会」が8月24日(金)、東京都千代田区の歯科医師会館で開催された。本学からは第4学年の中田智是君が出場し、厳正なる審査の結果、臨床部門第2位に選出され、受賞の栄誉に輝いた。同選抜大会における本学学生の入賞は初の快挙。

本大会は、未来を担う国際的な歯科 2名を上位入賞者として選考し、その中から優勝者(日本代表)1名が選出される。中田君は「溶血性を持つ *Campylobacter* 属は歯周病の抑制と関連する」と題した研究成果を発表し、審査員からの質問にも英語で的確に答えた。一般公開を経て、午後7時半から審査結果の発表が行われた。臨床部門の第2位入賞者として中田君の名前が発表され、登壇した中田君には表彰の盾が手渡された。



見学者に研究内容を説明

本研究は、中田君をはじめ、大毛翔吾君(第4学年)、植野裕司君(第3学年)、浮田英彦君(第3学年)、高坂伶子さん(第3学年)の学生5人が、放課後や休日の時間を使い、少しずつ研究成果を積み重ねてきたもので、大会には中田君が代表として出場した。

学生たちは細菌学の講義・実習を通して、口腔内の細菌と口腔内病変に興味を示し、赤血球を溶かす能力のある細菌(溶血性細菌)が唾液中に多く存在していることを不思議に思い研究を開始した。溶血性を有する細菌は、その宿主とされる人類にとって、基本的に危険なものである。当初、溶血性細菌は、歯周病の悪化に伴い増加する細菌ではないかと中田君らは考えていたが、選択科目「歯科医学研究」を契機に実際に調べてみると、歯周病患者と非罹患者の唾液中の溶血性細菌数には、大きな変化は見られなかった。そこで、その溶血性細菌のDNAを詳細に調べてみたところ、これらの溶血性細菌が、ゲメラ属に分類されることが分かった。



SCRP参加者および役員らと記念撮影

このゲメラ属細菌は、現在歯科領域の細菌学教科書には全く記載のない興味深い細菌である。そこで、唾液中のゲメラ菌の割合を詳細に調べたところ、歯周病患者に比べ非罹患者に、ゲメラ菌の一種である *G. haemolyticus* の割合が有意に高いことが示された。さらに、この *G. haemolyticus* は、歯周病の病原菌として注目されている *P. gingivalis* の生育を直接的に抑えることも明らかにした。これらの研究を精査したうえで、中田君は大会出場を見据え、英語力の強化に励んだ。中田君は「入賞できて光栄です。指導してくださった口腔細菌学講座の吉田明弘教授、三好智博講師、サンプルを提供していただいた中田君の受賞に立ち会った三好講師は、「学生5人の研究への情熱と日々のがんばりが、受賞となって結実したことを嬉しく思います。審査結果発表・懇親会での諸先生方のお話から察すると、本研究における学生らしい着目点、ゲメラ属細菌の新奇性、さらに治療応用への将来性が高く評価されたのだと思います」と賞賛し、「この研究成果は新たな視点からの歯周病治療に繋がるもの」と期待を寄せている。

## 台湾高雄市立三民高級中学一行が来学 留学への関心高める

台湾高雄市立三民高級中学の一行22人が9月12日(水)、来学した。今回の大学訪問は、本学が2012年より実施している高校訪問並びに長野県観光機構が誘致する修学旅行の一環で実現したものである。

創立30年記念棟「常念岳」の間にて開催された歓迎式典では、宇田川信之歯学部長が「本学には多くの台湾人留学生が在籍し

台湾高雄市立三民高級中学の一行22人が9月12日(水)、来学した。今回の大学訪問は、本学が2012年より実施している高校訪問並びに長野県観光機構が誘致する修学旅行の一環で実現したものである。



本部館前で記念撮影をする三民高級中学一行

おり、日本の医療系大学でも大変国際化の進んだ大学です。ぜひこの機会に日本の大学がどういうものであるかを体験してください」と歓迎した。団長である劉人誠校長からは「松本歯科大学からは毎年本校を訪問いただき、学生募集の資料を頂戴しています。歴代校長は松本歯科大学の名前を知っており、今回私が大学を訪問することができ大変光栄に感じます。従来の日本修学旅行は高校生との交流を主に行っていましたが、大学を見学することは学生にとって将来設計に有益であると考えます。今後このような交流が続くことを願っています」と挨拶があった。一行は病院を見学し、総合口腔診療部門では音琴淳一教授より口腔内細菌の説明およびチェックが行われた。学生からは「自分たちの口の中には多くの細菌がいることに驚いた」、「普段からしっかりと歯を磨いているつもりだったが、短時間であれほど細菌が繁殖するとは思わなかった」などの感想があった。

(学事室 室長 酒井康成)

名画で楽しむギリシア神話(19)

トロイア戦争 ①

美しい海の女神テティスはさ... まざまな神々から求愛されたが、自在に変身する能力で逃げ回っていた。しかも、彼女が産む男児は「父親よりも強い男になる」との予言が付いていたから、大神ゼウスでさえも手が出せなかった。

ところが、アルゴ探検隊にも参加した勇者ペレウスは、おそれ知らずにも女神に熱い愛情を抱いた。ケンタウロスの賢者ケイロンの助けを受けてテティスに近づき、抱き締めることに成功した。無礼な人間に怒った彼女は、ペレウスの腕のなかで獅子や大蛇に変身したが、離してもらえない。真つ赤な火の玉となって、腕や顔を焼き焦がしても、彼は美貌には自信がある女神たち

が揃っている場であったから、この供物をめぐって争いが始まってしまった。とりわけ、ヘラ、アテナ、アプロデイトの3美神の対立が激しかった。混乱を鎮めようとした大神ゼウスも、うかつに裁定を下せば恨みを買いかねない。

困惑したゼウスは、このリンゴがだれにふさわしいかを、イデ山の羊飼いのパリスに判定させることにした。この若者は、実はトロイアの第二王子で、出生時に「国を亡ぼす原因となる」という神託があったため山中に捨てられたが、親切な羊飼いに拾われて育てられていたのである。ゼウスに命じられたヘルメス神が、空を飛んでパリスを運んできた。三美神はそれぞれすば



図1 Haarlem, C.: ペレウスとテティスの婚礼の宴



図2 Rubens, P.: パリスの審判

歯学部第5学年 清水まやさん、大谷有希さん 学術大会でポスター賞を受賞

第29回日本臨床口腔病理学会並びに第11回日本口腔検査学会総会の共催学術大会が8月25日(土)・26日(日)の両日、東京歯科大学で開催された。臨床病理部門・口腔検査部門・研究部門・学生部門の4部門からなるポスター発表では、第5学年の清水まやさんと大谷有希



右から長谷川教授、清水さん、井上孝大会長、大谷さん、筆者

さんが「口唇腺におけるマンマグロビン陽性細胞の分布」をテーマに発表し、みごと学生部門ポスター賞を受賞した。2人は第3学年の選択科目「歯科医学研究」において長谷川博雅教授の指導の下で本研究を開始、以降も継続して研究に取り組んできた。今年6月にはこれまでの成果や本研究の発展性を見込まれ、本学の学生では初めて一般財団法人・長野県科学研究所の学術大会でポスター賞を受賞した。清水さんは「このような栄えある賞をいただき、感激するとともに驚いております。これまでに私たちが指導してくださった長谷川教授や口腔病理学講座の先生方に御礼申し上げます」と受賞の感想を述べた。

2人のように授業で習う範囲の枠に留まらず、教わった知識をさらに深めるような志を持つた学生が増えることを期待する。(口腔病理学講座 助教 嶋田勝光)

日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナー 黒岩昭弘教授を幹事に松本市で開催



特別講演を行う宇田川教授(右)と進行役の黒岩教授

歯科補綴学講座・黒岩昭弘教授が幹事となって、2018年度日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナーが8月30日(木)・31日(金)の2日間、松本市のホテル翔峰で開催された。特別講演では、本学歯学部長の口腔生化学講座・宇田川信

と骨形成のカップリング機構について解説。破骨細胞分化因子(RANKL)の発見をはじめ、骨芽細胞はRANKLのデコイ(おとり)受容体であるOPGを産生し、OPGはRANKLとその受容体RANKの結合を阻害して破骨細胞の分化と機能を抑制することや、骨へのメカニカルストレス(力学的負荷)の分子メカニズムについても詳述した。



一般講演で質問に応じる 洞澤講師

2日目の一般講演では、本学歯科補綴学講座の洞澤功子講師が「金属アレルギーのアレルゲンの解明」について発表し

第3学年「口腔生化学II」 大阪大学・審良静男先生が自然免疫について講義

8月24日(金)、第3学年の「口腔生化学II」において、大阪大学・審良静男先生が自然免疫について講義された。

審良先生は、1984年大阪大学医学研究科博士課程を修了後、カリフォルニア大学バークレー校博士研究員、大阪大学細胞工学センター助手、兵庫医科大学衛生化学教授、大阪大学微生物

免疫(抗原-抗体反応)の誘導に重要な役割を果たしている基本的な生体防御システムである。当初、マクロファージや樹状細胞が非特異的に病原体を貪食すると考えられていた。しかし、審良先生は、マクロファージなどの貪食細胞が病原体を特異的に認識する「II様受容体を介して」という発見により、この受容体を介した信号が抗体産生やキラー細胞の活性化など獲得免疫の誘導に重要であることを明らかにした。

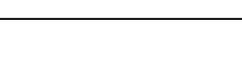
審良先生は専門の自然免疫について分かりやすく講義され、講義後の質問では、自然免疫学を志した理由や「II様受容体を研究の対象にした理由などの質問に丁寧に答えられ、学生諸君の学ぶ心に大きなインパクトを与えた授業であった。(総合歯科医学研究所 教授 小林善造)



講義する審良先生

MTBペタリング 随想記 夏の海外遠征が終了した。食欲の秋とはよくいったもので、減少した体重も着実に戻ってしまいい、食欲をセーブするのに苦労している。灼熱の夏からようやく秋の涼しさと長雨を感じるようになってきた。昨今の気温の上昇はみんなが感じているところで、クマゼミの分布が北上しているというニュースを読んだ。雨の降り方も確実に変化していると感じる。梅雨のしとしとと雨が降り、夏の夕立ならぬスコール、そして秋雨の長期化といった具合だ。それに伴う災害や地震などの様子を間近にすると、地球に何かが起こっているのではないかと考えてしまう。一つひとつの小さな変化が異常気象に結び付いているのではないだろうか? 大きな視野で環境改善のための意識改革が必要な時代なのかもしれないと思う。

少しの変化は意識しなければ全く気にならないし、変化が出てきて初めて気がつくもの。また総じてそれらへの初動が遅いことは多々ある。ある朝、奥歯に痛みがあった。歯の痛みは切なさや上乗せされているような気がする。十年ぶりぐらいだろうか、久々に診てもらった結果、若い時に2本を抜いてもらってトラウマとなっている親知らずは1本もなく、ホッとした。歯石が多かったように歯磨き指導を受けた。ブラッシングが雑ということだ。50代になると歯のトラブルが増えるとの話も聞いたので、これを機会に日ごろから歯に意識を向けて、小さな変化も気づけるよう、自分の歯を守りたい。



元JTB一五輪日本代表 鈴木 雷太

病院だより vol.4

シリーズ専門性②

健康づくりセンター

2008年開設の健康づくりセンターでは、地域の皆さまの予防医療の貢献を目指して、健康増進・疾病予防を行っており...

目的や始めるきっかけは、体重や脂肪を減らしたい、運動をしていけれど効果を感じられない、筋肉をつけたい、生活習慣病の予防・対策のための運動をしたい、医師から運動を勧められていけれどどのように運動したらよいか分からないなどさまざまです。



左から上原、塩原、碓井の各トレーナー

健康運動指導士の碓井秀紀トトレーナー、塩原静トトレーナー、上原拓斗トトレーナー、大槻美佳トトレーナーの4人が指導にあたっています。お気軽にお電話下さい。

利用時間は平日のみで、10時～13時30分、15時～19時30分です。継続利用料は1回920円です。継続利用料は1回920円です。継続利用料は1回920円です。

本年度の第4学年から摂食機能療法の講義が独立して行われるようになりました。これまでは障害者歯科や高齢者歯科の一部で講義がなされて...

後期カリキュラムより「摂食嚥下療法学」を開始

本年度の第4学年から摂食機能療法の講義が独立して行われるようになりました。これまでは障害者歯科や高齢者歯科の一部で講義がなされて...

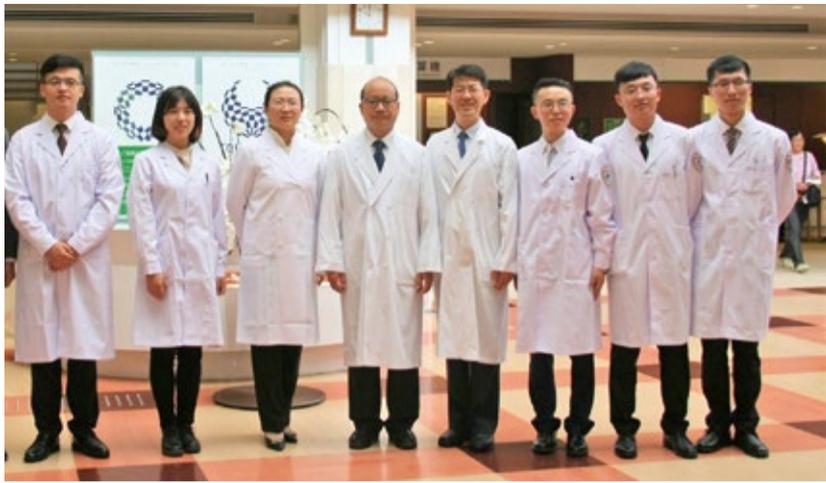
本年度の第4学年から摂食機能療法の講義が独立して行われるようになりました。これまでは障害者歯科や高齢者歯科の一部で講義がなされて...

本年度の第4学年から摂食機能療法の講義が独立して行われるようになりました。これまでは障害者歯科や高齢者歯科の一部で講義がなされて...

本年度の第4学年から摂食機能療法の講義が独立して行われるようになりました。これまでは障害者歯科や高齢者歯科の一部で講義がなされて...

摂食嚥下療法学の講義をする配島教授

河北医科大学の学生5人が来学 臨床実習を通じ自国と異なる医療現場を体感



河北医科大学の学生と引率の教員

9月10日(月)から14日(金)まで、本学姉妹校である中国河北省の河北医科大学より歯科口腔学第5学年の学生5人(范增、边策、劉涵、盧曉熾、秦志明)ならびに引率教員3人(孫万彬、劉慶、趙琛)が来学し、本学病院で臨床実習を行った。

本学からは2015年より毎年歯学部第5学年の学生を河北医科大学口腔学に派遣し、臨床実習を行っている。それに添えて河北医科大学からも学生の派遣が行われ、今回は昨年に引き続き2回目となる。

初日は川村仁歯科病院長および実習を担当する教員から歓迎の挨拶とともに大学と大学病院の概要を説明した。学生らは河北医科大学の白衣に身を包み、

8月29日(水)3時限目、本館602教室において東京歯科大学理事長・学長の井出吉信先生による第6学年を対象にした特別講義が行われた。

東京歯科大学理事長・学長井出吉信先生が特別講義 臨床歯科医学と解剖学の関連性を説く

講義を終えた井出先生は「私の質問に適切に答える学生が多く、松本歯科大学の学生たちが勉強に励んでいることがよく分かった」と感想を述べられ、帰路に就かれた。

今回の特別講義の内容をさらに極めて、卒業に向けて学生たちがさらなる努力研鑽することになり、大きく期待したい。

8月18日(土)・19日(日)の両日、図書館学生ホールと解剖学実習室にて口腔顔面痛脳学習キャンプin信州が開催された。

口腔顔面痛脳学習キャンプ in 信州 脳機能の重要性を実感

の北原功雄先生による「脳神経ニューロパシーと外科療法」の2講演と脳標本を用いた実習が2日間にわたり展開された。



参加者全員で記念撮影

口腔解剖学講座 教授 金銅英二

# Alumni News

松本歯科大学校友会

愛媛県支部 総会・発足20周年記念講演会を開催  
講師に歯科補綴学講座・黒岩昭弘教授を迎えて  
「歯科医療の昨今―超高齢社会から新規導入まで―」



講師の黒岩先生（前列右から2人目）

6月30日（土）、愛媛県支部発足20周年記念講演会・記念式典が松山市の道後山の手ホテルにて行われました。

1979年に2期生4人が愛媛県に帰郷しました。

を込めて宴の席を準備させていただきました。

総会では筆者・加藤より本学校友会総会の報告、会則一部改訂等について協議し、会員の先生方のご協力のもと時間内で無事終了することができました。

その後発足20周年記念講演会を本学歯科補綴学講座教授・黒岩昭弘先生をお迎えして、「歯科医療の昨今―超高齢社会から

新規導入まで」と題して講演いただきました。今回で2回目のご講演となりましたが以前にも増してパワーアップしており、気付けばタイムアップとなっておりました。

記念写真撮影後、祝賀会に入りました。大西雅司先生（28期生）の司会のもと、愛媛県歯科医師会会長・是澤三三先生、本学校友会専務理事・原田寿久先生（2期生）をはじめ多数の来賓の方々からお祝いのお言葉をいただき、校友会常務理事・川原一郎先生（13期生）の乾杯の音頭で宴会が始まりました。

今回は20周年記念祝賀会ですのでもちよつと贅沢にフレンチのフルコースを準備させていただきました。2時間余りではありましたが、近隣の校友会の先生方や在学中の父兄の方々また友好大学の先生方と楽しく歓談し親睦を深める事ができました。その後はお決まりの松山のネオン街に繰り出し楽しく過ごされたようです。

初夏の木々の緑があざやかな松本市あがたの森文化会館にて6月23日（土）、合唱部OB会が開催されました。本学には現在合唱部はありませんが、大学創設当時から有志数人で男声合唱団としてスタートし、その後混声合唱団として学園祭や学外のコンサートにも参加し活動してまいりました。

合唱部OB会は、不定期ながら開催されています。前回は2015年4月に、宮崎シーガイア・リゾートで開催し、3年ぶりに合唱練習、ミニコンサート、

ミニ音楽会も企画して楽しい時間を過ごしました。

当日は小雨が降るなか、1期生から11期生の13人が思い出の地、松本に参集しました。6人のご家族の参加もありました。会場のあがたの森文化会館は、ヒマラヤ杉に囲まれた「あがたの森公園」内にある重要文化財「旧松本高等学校」の木造洋風建築校舎を保存しながら、市民の教育文化活動に活用している施設で、各種サークル活動やコンサートにも利用されています。当日もさまざまな楽器の音

懐かしく思い出しました。

今回も合唱指導を山田哲男先生（5期生）にお願いし、先生の奥様にもピアノ伴奏で参加していただきました。



山田先生の指導のもとで合唱の練習

色や歌声が聞こえ、学生時代を懐かしく思い出しました。

また、飯村基志先生（1期生）のチェロ演奏、山田先生のクラリネット演奏もあり、一同美しい音色に感激しました。

懇親会は松本市内のレストランシアトルに場所を移し、近況報告をし、お互いの健康と再会を約束し散会しました。次回は千葉県で開催予定です。

（1期生 栗山正之）

第9回日本口臭学会学術大会  
「口臭患者のNBМを考える」をテーマに開催

第9回日本口臭学会学術大会は7月28日（土）・29日（日）の両日、「口臭患者のNBМを考える」をメインテーマとして本学7階講堂において開催されました。（NBМとは「Narrow Band Matrix」の略で、口腔内細菌叢を分析するための検査方法です）

台風の影響もありましたが、全国から200人近い参加者があり盛会となりました。

教育講演では、国際医療福祉大学三田病棟の平島奈津子教授に、「歯科領域の心理療法」として力動的な観点から口臭患者の心理療法を行う基礎を医療面接から丁寧に説明を行っていただきました。

シンポジウムは「患者心理と口臭を理解するには」として、本学歯科保存学講座の森啓講師が「医療面接、FitとSenseからNBМを考える」としてNBМの基本的知識を、福岡歯科大学の谷口奈央先生が「口臭患者のNBМ聴取」として大学腔外科部長という多忙なか、県内の多くの合唱団で指導・指揮を熱心にされ、またクラリネットの達人でもあります。多くの会員は、現在は合唱から離れていますが、先生のやさしいご指導と素晴らしいホールの響きに助けられ充実した練習ができました。

また、飯村基志先生（1期生）のチェロ演奏、山田先生のクラリネット演奏もあり、一同美しい音色に感激しました。

懇親会は松本市内のレストランシアトルに場所を移し、近況報告をし、お互いの健康と再会を約束し散会しました。次回は千葉県で開催予定です。

（1期生 栗山正之）

口唇化学講座・中村美どり准教授  
日本小児歯科専門医指導医を取得

口唇化学講座の中村美どり准教授が、9月2日（日）、公益社団法人・日本小児歯科学会の専門医指導医を取得された。

小児歯科学会の専門医指導医は、小児歯科診療のなお一層の発展と向上を図ることを目的とし、学会認定の小児歯科専門医で15年以上の学会歴および小児歯科診療の経験を有していることが申請条件になっている。また、専門医指導医にふさわしい論文発表や学会発表など

愛知学院大学・山田三良先生が講演  
「コンポジットレジン修復の臨床」

8月28日（火）、愛知学院大学歯学部保存修復学講座・非常勤講師の山田三良先生をお迎えし、研究所セミナーが創立30周年記念棟「常念岳」の間で開催された。

2000年、FDI（国際歯科連盟）から「最小の侵襲（Minimal Intervention: MI）による歯科治療」という概念が提唱され、また接着性修復材料の進化にともなう治療が求められるようになりつつある。このような時代的、社会的な要求を満たすために接着性修復は欠かせないものである。また、レジン系歯科材料の発展は日進月歩で進み、なかでも

病院内における取り組みを、筆者からは「口臭患者のNBМ分析手法の提言」として患者のQOL分析を含んだアンケートの提案等の多彩な講演が行われました。これら講演と一般演題12題は、それぞれ参加者から活発な質疑応答が行われました。

日の浅い本学会ではありますが、口臭という特定の症候を持つ来院患者は多く、参加した歯科医師や学芸会補助に携わった本学の若い諸先生方にとっても有意義な開催となりました。

（第9回日本口臭学会学術大会 委員長 山田三良先生）

接合性修復の主流であるレジン系修復材料は接着システムも含め、その開発・改良のスピードは早く、一般の臨床現場においては、現時点での先端の知識や情報の把握が困難で混乱を生じている場面もある。

今回、山田先生は、接合性修復としてコンポジットレジンの直接修復法に焦点を当て、その発展・改良の歴史と、仕上げや研磨まで含めて臨床で上手く応用できる「カンどころ」などを紹介していただき、活発な討議が行われた。

（歯科保存学講座 講師 森啓）



活発な質疑応答が行われた教育講演

松本歯科大学主催  
「第5回カムカムメニュー・写真コンテスト」のお知らせ

テーマ：よく噛んで食べよう～カムカムメニュー～  
食感や噛み応えがあり、美味しそうなメニューの写真をお送りください。

募集期間：9月10日（月）～10月20日（土）  
応募方法：応募用紙より申込ください。  
松本歯科大学ホームページ www.mdu.ac.jp  
または松本歯科大学病院にて入手可能。

発表：11月10日（土）午後2時30分～  
本学図書館2階学生ホールにて  
◆展示発表：午後1時～3時  
◆表彰式：午後2時30分～

特別講演：午後1時30分～2時30分  
「味のリズム」  
講師：ホテルシェラリゾート白馬 総料理長 金澤光久さん

応募アドレス：info\_csrc@mdu.ac.jp  
【お問い合わせ】松本歯科大学 社会貢献・地域連携推進センター  
TEL 0263-51-2090

の業績を有することが必要です。中村准教授は、小児歯科学講座に在籍した後、2004年より口腔化学講座に移籍し、現在も継続して小児歯科診療室での外来治療を行い、研鑽を積まれている。地域医療活動に貢献され、小児歯科学会の活動にもさらなる活躍が期待される。

（小児歯科学講座 教授 大須賀直人）

Economic News 内外の経済 9月27日付

東京外国為替相場と各国定期預金金利 (3カ月物)	
米ドル	113.80円 0.20%
英ポンド	149.68円 0.10%
スイスフラン	117.88円 0.01%
ユーロ	133.64円 0.01%
タイバツ	3.56円 0.10%
日本円	— 0.01%

(SMBC 信託銀行HP等より)

- 10月（日） 秋期授業開始（大学院）
- 2日（火） 衛生学院指定校推薦入試
- 3日（水） 衛生学院指定校推薦入試
- 10日（水） 衛生学院公募集推薦入試（1期）合格発表
- 12日（金） 衛生学院戴帽式
- 20日（土） 防火・防災訓練
- 21日（日） 体育祭
- 24日（水） 一日体験入学（歯学部）
- 大学院発表会

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

公募制推薦入試  
指定校推薦入試  
校友子女入試

試験日 11月17日（土）  
出願期間 11月1日（木）～11月14日（水）

一日体験入学  
①10月21日（日） ②11月4日（日）  
開催時間 9:45～15:00（受付9:15～）  
●キャンパスツアー ●ランチ体験  
●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など  
※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】  
HOT LINE 0263-54-3210  
松本歯科大学 入試広報室  
www.mdu.ac.jp

人事異動  
8月31日付  
中村佳菜絵 事務管理課長（ハトメ）  
佐藤美智子 事務管理課長（ハトメ）

10月行事予定